【山域】 吾妻連峯

【場所】 一切経山~東吾妻山

【行動日】 2020年 6月21日(日)

【メンバー】 CL 鈴木(愛) SL 鐸木(憲) 大木 澤田(路)(記録)

【行動】 21日(晴)

千葉 4:30⇒ 東北道福島西 IC ⇒ 9:00 浄土平(駐車場) 9:25 → 11:00→ 切経山 11:30 → 鎌沼 12:00→ 13:00 東吾妻山 13:15 → 浄土平(駐車場) 14:15⇒ 福島西 IC ⇒ 帰葉

自粛宣言解除、県外移動 OK となっての初めての週末。

混雑を予想していたものの、浄土平の駐車場に到着してみるとその車の多さにびっくり!! とはいえ待ちかねていたみなさん同様、眼前に広がる山々と湿原の緑が目にしみ、高原の爽やかな空気と風を感じ、身支度していてもこの上ない開放感がこみ上げて来てワクワクが止まらない。

一切経の登りはビジターセンター裏に広がる浄土平湿原に続く木道からスタート。ラッキーなことに 10 日までは噴火警戒レベルが高く入山禁止コースだったようだ。

"山、花やぐ"この季節のお楽しみは可愛い花たちに出会うことだったが、早速イワカガミのお出迎え。足元の木道脇には、ツマトリソウ、ミツバオウレン、ミネズオウ。そしてワタスゲの群落が風に揺らぐ。「うーん なんというシアワセ!!」でも悲しいかな列をなす人でゆっくり眺めて写真を撮りたくても立ち止まると渋滞になる。その上、木道や細い登山道をすれ違う時は、「あらら」かなりの三密かも。



3ヶ月ぶり!笑みがこぼれます



足取りも軽やかに go



前にも後にも人がいっぱい!

姥がない が現れだ。 が現れだ。 が見ないを ををでする。 がするでいる。 がするでいる。 がするでいる。 がするでいる。 がいるでいる。 がいるでいる。 がいるでいる。 がいるでいる。 がいるでいる。 でいるでいる。 でいるでいる。 でいるでいる。 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 にいるでは、 にいるでは



吾妻小富士のお釜



すでに山頂を踏んでおりてくる人並みの中に TさんIさんの笑顔を発見!

同じコースに計画が出ていたので会えるといいね、と予想はしていたものの、やっぱり山で知った顔に出会うと嬉しい。

振り返って左下に鎌沼が見下ろせるようになればゆるい登りになって程なく一切経の頂上。



一切経山 山頂の祠



神秘的な魔女の瞳(五色沼)

小石が積まれた祠まれた祠まれた祠まれた祠までのでのでいるのでのである。 ここが いっぱれ を はいいっぱれ を 解からの はん ない に 喜 で ない に るのだろう。

広い山頂の北側からはコバルトブルーが神秘的な 五色沼、別名「魔女の瞳」が臨める。吾妻連峯の代 表的な景観である。

彼方には月山 鳥海山 朝日連峰 飯豊連峰 家 形山 近くには東大てん 西吾妻などなど。



うれしい初物です!

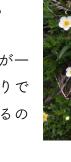
そして太っ腹リーダーか ら実家山形直送の豪華な

デザートさくらんぼが「はい、一人5個とって!」と休憩のたびに振舞われ、大感激。やったー!何よりのご馳走だ。

〇 さんのいつもの冷たいきゅうりの浅漬けも汗をかいた身体に美味で嬉しい。



一切経山 山頂



チングルマ

分岐まで往路をたどり鎌沼へ続く木道。ワタスゲが咲く今頃が一番美しい。酸ガ平の湿原を右に見て鎌沼が現れる。沼のほとりでランチを食べながらまどろんでいる人がこんなにいっぱいいるのも初めてだ。

谷地平との分岐から左に折れて正面に見えるこんもり丸い東吾妻を めざす。

この辺りはチングルマの群落が美しい。少し人が減り立ち止まる余裕 もあるようになって、リーダーの「お父さん、写真とって!」の声が 飛ぶは、飛ぶは。

お父さんも負けずに「はい パチリ」と口だけ空シャッターで答える 絶妙な掛け合いが可笑しいったらない。

木道も終わり、大シラビソとこめつがの樹林の中、えぐられた歩きに くい展望のない道の登りとなる。ひたすら暑い。

大汗をかいてフーフー言っていると、またここでおりてくるTさんL さんとばったり再開。



暑い登り

「ここからは楽になるよ」の嬉しい言葉通り、やがて明るくなり空が見えてくるとハイマツ 帯に飛び出し、丸太の幅広階段を一登りすると東吾妻山頂に到着。

晴れていれば最高の眺望のはずだが、残念ながらガスっていまいちなので小休 止してすぐ下る。

姥ガ原まで往路をたどり、分岐で周回する 左コースをとる。湿原の木道もいいけどみ ずみずしい森の中は、緑のシャワーを浴び て身体中が潤って喜んでいる。

リーダーは大好物のマイヅルソウの群落 に出会うたび少女のように「可愛い!」を 連発し、立ち止まってはじっくり愛で、心 から久々の山と花を楽しんでいる。

予報通り天気は下り坂のよう。

浄土平まで下りてくると完全にガスに包まれ、



酸ガ平 フィナーレは近い!



マイズルソウ

なのに出発の時以上に駐車場には車がいっぱいだ。温泉のメッカに来たのに入る気満々で予定していた高湯の共同浴場「あったか湯」はすでに満車で諦め、その後に出てくる温泉もことごとく日帰り入浴終了のため、立ち込める硫黄の匂いだけ嗅いで帰路に着く。

三密を避けて色々工夫しているドライブインのレストランで美味しいラーメンを食べ、心配 した渋滞もなくスムーズに帰葉。

最後に一言付け加えると、今回の山行はIさんリーダーデビュー山行。自粛解除初後のスタートにふさわしい花いっぱいのいい山行でした。お疲れ様、感謝です。これからもよろしく。

リーダーのつぶやき

出発前からの M さん、O さん、K さんとの約束「その都度忌憚のない助言をしてね」と私。忌憚のない助言を頂き、楽しくリーダーとしての学習ができました。みなさん有り難うございました。今後にいかしたいと思います。